



見上げた空のいろ、雲のかたちに思うこと

10月に入り、2019年度も後半突入です。先週は真夏日もありましたが、これからは気温も落ち着いて、さらに秋らしくなってくるものと思われます。

私はここ数年、欠かさず日記を書いています。「3年日記」というA5版のサイズですが、2冊目の中段となっていますので、5年目も終盤を迎えたこととなります。書く量はわずかですが、時々イラストもまじえています。そうすると、後から見返したときの印にもなります。日々の慌ただしさの中で忘れてしまっていたことが、ふと思い出されるのがこの日記のよさです。学校での出来事を記すこともありますが、よく続いているなあといながら感心しています。

さて、去年の今頃の記録を見ると、ちょうどキンモクセイの香りが漂い始めていたようです。よく足を運ぶホームセンターの園芸コーナーも様々な植物が展示されて、活気を取り戻した感じです。

天気の良い日に、ふと空を見上げてみました。真っ青な空に雲が不思議な模様を作っています。前後左右や足元は確認しますが、視線をグンとあげてみることを忘れていたように思います。信篤地域も、まだまだ広い空を見渡せます。先日紹介した、県出品の科学論文「天気の話調べよう」ではありませんが、空の色や雲の形、肌に触れる風の感じ、あるいは夜空の星をゆっくり見たり感じたりする時間を大切にしたいものです。大人になって、ふと漂ってきた香りから子どもの時の体験を思い起こしたり、聞こえる音からその時々風景やできごとを懐かしんだりすることもあると思います。

夕焼けがとてもきれいな日があります。また、日が沈んだあと、空のグラデーションに目を奪われることもあるかもしれません。そんな何気ない日常の事象に、五感を働かせて感じ入る心を育むにはよい季節の到来です。スピード化が進む中、敢えてスローな時間・空間を大切にしたいものですね。

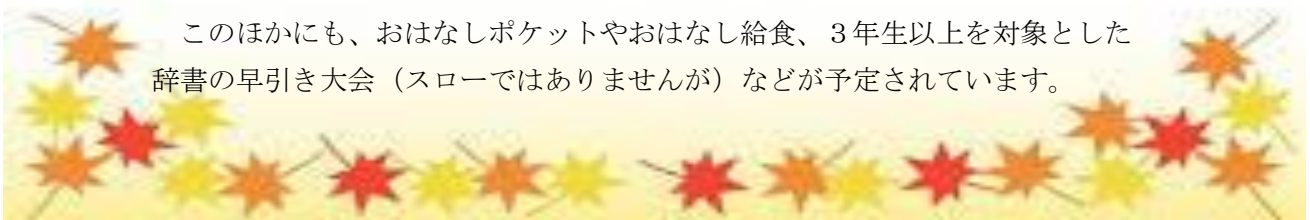


来週(10/7)から読書月間が始まります

子どもたちは、本の世界を楽しんでいますか？成長とともに、読書の幅は広がっていますか？また、自ら時間を作って読書をする習慣が身についてきましたか？来週から10月いっぱい秋の読書月間です。スローな時間を過ごしたいと思います。図書館だよりにもありましたが、簡単に紹介します。

- (1) 充実した朝読書 : 個々の読書記録からの励ましや先生、委員会等による読み聞かせ
- (2) くじびきブック : 3冊借りられる本の中から、1冊はくじで借りる本を選ぶ
- (3) 先生方による本の紹介 : 全員がしおりにしておすすめの本を紹介
- (4) 本からクイズ : 読書月間中に、出題されている本を読んで解答する

このほかにも、おはなしポケットやおはなし給食、3年生以上を対象とした辞書の早引き大会(スローではありませんが)などが予定されています。





第3回学校運営協議会

9月24日(火)午後5時から、12名の委員が集まって学校運営協議会を開催しました。

今回は、6月末実施の学校評価(保護者アンケート)の結果をもとに、課題とその克服に向けた取り組みについてお伝えして、ご意見を頂戴しました。また、よりよい学校経営のための教職員の任用についても話題にしました。様々なご意見をいただきましたので、その一部を以下に紹介しながら報告にかえさせていただきます。

【あいさつについて】

- * 今の子どもたちはあいさつが苦手。目が合わなかったり、声に出すことに慣れていなかったりする。
- * あいさつも多様で、声や表情、会釈、目の合図など様々である。
- * シャイで自分からあいさつできない子もいる。そういう子には、まずは大人から積極的にあいさつしたいものである。
- * あいさつを自分から先にした方が気持ちよいというようなポジティブな方向に持って行きたい。
- * 家で朝起きた時に自分から家族に声をかけているか。あいさつは返ってきているか。まずは各家庭での行動を振り返る必要がある。
- * 信篤小の児童は他校に比べると、あいさつのできる子が多い学校だと思う。

【学力について】

- * 基礎基本を大切に学習の成果が、全国学力学習状況調査の良好な結果に表れている。
- * 少人数指導や寺子屋などの効果が表れている。少人数指導については、指導者同士が目的の共有化を図っていることは大きい。
- * 互いに意見を言い合う学習が足りないように思う。何を言ってもよいという中でのディスカッションは楽しいものであることを知ってほしい。
- * 家庭学習は、親の協力なくして成り立たない。宿題の丸付けだけでも家庭による差が大きい。丸を付けることをきっかけに会話にもなる。家庭でどれだけそうした意識があるかを調べてみるのもよい。

【教職員の任用について】

- * 個別に話しができて、思いや考えを引き出せる場をつくるのが大切だと考える。
- * 一つのことに取り組むにしても、それを支援してくれる人物も必要である。
- * 特別支援教育に精通する教員の配置も大事にしたい。
- * 一般企業でもリーダーによって業績などがガラッと変わるものである。現在在籍する人物が中核を担っていけるように育てること、育つ組織にすることも忘れてはならないと思う。

知識はどんどん使って 自分のものにする

知識を得ただけでは不十分。新しく習ったことは、とにかく使ってみよう。知識と経験を合わせることで、「本当の力」が育っていくよ。(よのなかルールブックより)
これは勉強でも運動でも同じ。さらに、「なぜだろう」と考えて調べると力がアップ。

みその たいち
御園 太一先生
九月二十四日に着任しました。教育現場は初めてですので、まずは色々な学年での少人数サポートから始めています。
陸上競技をしていたので、陸上部の練習にも積極的に関わりたいと思います。
よろしくお願ひします。

